



くにちゃんブログ (ジャンル：プレイバックシアター)

橋本さんのお気持ちを表す言葉…「興味」「面白い」「楽しい」「好き」「幸

せ」「惹かれる」「満足」&「エネルギー」に関連する文章(抜粋)

2006/08/25～2010/09/09 (逆順)

2011年1月 吉橋 編

シアター・ザ・フェンス on ヒトリ主義 Night2010 開催間近！ 2010/09/09 15:51.....	3
応用心理学会で試みるプレイバックシアターWS のご案内 2010/09/08 15:59.....	3
應典院プレイバックシアター、いよいよ来週火曜日！ 2010/08/26 14:14.....	3
8/31 應典院×シアター・ザ・フェンスのお知らせ 2010/08/13 17:31 .....	4
オーシャンズ・コンタクト・ダンス&プレイバックシアター・ワークショップ(act 1)のご案内 2010/07/21 15:18 .....	4
「プレイバックシアター アブル」クラス開始のご案内 2010/07/12 21:40 .....	4
「金剛山で、星空プレイバック！」のご案内 2010/07/06 15:08 .....	4
(明治神宮+お祓い) ×プレイバックシアター÷舞踏クラス日程のお知らせとご挨拶 2010/06/12 17:47 .....	5
シアター・ザ・フェンス in 築港キャンドルウィークのご案内 2010/05/23 03:14 .....	5
(明治神宮+お祓い) ×プレイバックシアター÷舞踏クラスのご案内 2010/05/03 15:47 .....	6
第19回 プレイバックシアターワークショップ in 知床のご案内 2010/04/25 23:38 .....	7
スクール・オブ・プレイバックシアター日本校『プレイバックシアターのトランスパーソナルな側面』ご 案内 2010/03/19 23:00 .....	7
シアター・ザ・フェンス松本公演！ヒトリ主義 Night2010/GARDE-winterへのお誘い。2010/02/17 00:12 .....	7
大神子・「プレイバックシアターの可能性に迫る」クラス最終回のご案内 2010/02/13 01:17.....	8
劇団まざありいふ主催・高槻ダンスとプレイバックシアタークラスのご案内 2009/12/05 02:16 .....	8
第7回徳島・大神子プレイバックシアター研究クラスのご案内 2009/11/14 19:41 .....	8
「ダンスと舞踏、のちプレイバックシアター時々楽団」クラスのご案内 2009/10/16 21:44.....	8
フェンスショー満員御礼！と大神子ダンス WS へのお誘い 2009/09/25 00:37 .....	9
第18回 プレイバックシアターワークショップ in 旭川のお知らせ 2009/08/31 21:49.....	9
プレイバックシアターの研究⑥in 大神子(おおみこ) ご案内 2009/08/27 16:01 .....	9
徳島・自分を「置いて」みる・プレイバックシアターワークショップのお知らせ。2009/05/28 11:49 .	10
5/21：自分流リラックスダンスとプレイバックシアターの基礎 2009/05/18 05:23 .....	10
プレイバックシアターの研究 in 徳島・大神子クラスのご案内 2009/05/14 11:58 .....	11
礼文島プレイバックシアター追加募集のお知らせ 2009/05/09 16:14 .....	11
7/10：第17回 プレイバックシアターワークショップ in 礼文 2009/04/15 17:12 .....	11
3/27-29：群馬でプレイバックシアターワークショップ 2009/03/17 01:51 .....	12
プレイバックシアターの研究 2008/06/06 15:11 .....	12
5/31-6/1：興正寺プレイバックシアターWS 2008/04/22 22:41 .....	13
4/5～2010年3月：プレイバックシアター 2008/02/02 01:05 .....	14
10/6～8：プレイバックシアター 2007/08/22 19:39 .....	14
8/25-26：プレイバックシアター 体験ワークショップ 2007/08/12 21:13 .....	14
2/24,25：興正寺プレイバックシアターWS 2007/02/02 22:04 .....	15
9/2-3：興正寺プレイバックシアターWS 2006/08/25 15:15 .....	15

シアター・ザ・フェンス on ヒトリ主義 Night2010 開催間近！ 2010/09/09 15:51

この「ネガティブ」という言葉で何を意味しているのでしょうか？

直接には手を描いていないのに、どうしようもないリアリティで浮かび上がってくる「手」そのもの。

我々が直接にはコンタクトしようとしていないのに  
我々の動き・オドリを通じて浮き上がってくる存在。

このエネルギーが人の魂を整え、癒し、拡充する働きを持っています。

僕にとっては舞踏は「ネガティブな」オドリであり、  
僕にとってのプレイバックシアターは「ネガティブハンド」の働きそのものであるといてもいいと思います。

クロストーク、楽しみです^^/

応用心理学会で試みるプレイバックシアターWSのご案内 2010/09/08 15:59

実践するため野に下った多くの仲間に出会えるのは幸せです。

日々現場で実践し、研究されている方々と一緒にプレイバックシアターの磁場をとっても楽しみにしています。

應典院プレイバックシアター、いよいよ来週火曜日！ 2010/08/26 14:14

同じビジョンに関心を持つ仲間の集まりは、  
そのまま強いエネルギーの振り子となり、  
バイブレーションを広げていきます。

芸術の創造性は、われわれの住む街角で日常的に見られる当たり前のエネルギー現象になっていくでしょう。

僕はこのような集まりが成立することだけで、  
すでに深い満足感を感じます。

われわれの媒体としての役目はそこまでで、  
後は創造性自体が働き始めるからです。

8/31 應典院×シアター・ザ・フェンスのお知らせ 2010/08/13 17:31

先ごろ、その應典院の代表である秋田光彦師とお目にかかるご縁がありました。  
短い時間でしたがお互いに熱いエネルギーを感じた楽しい時間でした。

オーシャンズ・コンタクト・ダンス&プレイバックシアター・ワークショップ (act 1) のご案内 2010/07/21  
15:18

実際に遠征が始まって、連夜のグループアプローチによって自分や他者の内面にまなざしを向け続けることとなります。

使用される方法はエンカウンターグループ、プレイバックシアター、ファミリーコンステレーション、サイコドラマ、ソシオドラマ、瞑想など多岐に渡りますので、昼間のカンボジアン・エネルギーとの接触との相乗効果によって、揺れは深層まで及びます。

「プレイバックシアター アブル」クラス開始のご案内 2010/07/12 21:40

皆様。

今月8日より、スタジオ CAVE にて、初めての方も参加しやすいプレイバックシアターのクラスが始まります。

プレイバックシアターは日常的に続ける習い事、趣味としても大変面白く、楽しいものです。

「金剛山で、星空プレイバック！」のご案内 2010/07/06 15:08

自然教育事務所 宙 とフェンスワークスの初コラボレーションです。

ワークショップを作品と考えると、二つのエネルギーのデュエットが既に始まっているわけですね。

金剛山は僕も若い頃から親しんだ大好きな山、大阪人の聖なる山なので、本当に楽しみにしています。

(明治神宮+お祓い) × プレイバックシアター÷舞踏クラス日程のお知らせとご挨拶 2010/06/12 17:47

プレイバックシアターと比べて、お祓いの場の構造の方は、  
伝達されるエネルギーがハラのレベルへ向かうように  
セッティングされるようです。

16日(水)の第2回目クラスも、楽しくオドリながら、  
人生や生命現象の秘密に「気軽に」接近してみます。

つまり、我々の「普通の」日常生活=人生は、  
もしそれをちゃんとオドることができれば、  
実は最高に楽しい冒険であるということ。

シアター・ザ・フェンス in 築港キャンドルウィークのご案内 2010/05/23 03:14

隣の西区に住む僕が子供の頃から大好きだった、ロマンチックな夕日と  
船がいっぱいのお阪港。

僕は友人の紹介でまず、これも素敵な大正ロマン建築の「ビルジング」天満屋で「ハ a ハ a ハ a」というカ  
フェを営むハラダミホさんと出会います。

チャーミングな人です。そして人々の集まるいいお店です。  
僕はすぐに大好きになりました。

人々とつながれる楽しさを感じて、「出ます！」と言った僕は、  
彼女に連れられて、築港地区の誇る芸術施設である  
CASO (Contemporary Art Space Osaka) へ伺いました。

そこで、海岸通ギャラリーCASO と呼ばれるこの素敵な空間を案内して下さったのがスタッフの長坂行  
則さん。

またすぐに好きになってしまいました。

昨日、出演するダンサーとフェンスメンバーを連れて場当たりのため CASO へ。  
この時出会ったのは、CASO 運営スタッフとして新たに加わった北村良子さん。

ご自身もインスタレーション・アート作家で、今はギャラリー側から若いアーティストたちと関わっておら  
れます。

お話すること数十分でまた大**好き**になりました。

帰り道、フェンスアクターの田中聡君のアイデアを受けて、北村さんの作品とミニ・カウンセリング・アートを融合したインスタレーションをスタジオ CAVE でやってみるイメージが生まれました。

考えただけでも**楽しい**ですね^^

(明治神宮+お祓い) × プレイバックシアター ÷ 舞踏クラスのご案内 2010/05/03 15:47

先日、東京代々木での仕事の折、  
敬愛する友人 N 氏が首筋に不調を訴え、お祓いがいいよ、との参加者の言葉に、  
それなら近くに明治神宮があるから、と出かけました。  
僕は付き添いに指名していただいて明治神宮の本堂と一緒に座らせていただきました。

**楽し**かった！

雅楽の演奏あり、舞いあり、言葉あり、空間の使い方の手順（作法）あり、で儀式の**面白**さを再確認しました。

過去、結婚式やお葬式でプレイバックシアターを試みたことがあります。

また、北海道や富山、奄美で行った、土地の**エネルギー**を身体に落とし込んで表現するプレイバック舞踏や今回のようなお祓い、カンボジアでの多くの死者への鎮魂の踊り、地雷被害にあった人々とのダンスなどの経験を通じて、いま思うことは、民衆の死生観に密着した冠婚葬祭の儀式は、それ自体が大変**面白い**芸術様式であるということ。

もし我々がこれらの儀式にいのちを吹き込んで再び用いるならば、心理的な癒しや人生の生き方への知恵や、人間関係を全うすることなどの本質的な課題に対して大きな効果を発揮する優れた方法であるということ。

さらに、今まで**楽し**くないと思いがちだった我々の「平凡な日常」の営みとコントラストを作って繰り返されるお年始、お盆などの季節的儀式は、ていねいな内面への視界を用いて両者を切り離さずに見つめてみると、ものすごく気持ちのいいダンス体験のアップビートとダウンビートであるということ。

つまり、我々の「普通の」日常生活は、もしそれをちゃんとオドることができれば、実はものすごく**面白い**のです！

僕自身が住んでいる大阪市の西区、隣の区である港区、大正区の仲間たちと深め、発展させたいのは、この土地に長く住んでいる我々にしかできないものすごく**面白い**「普通の日常」の制作です。

## 第 19 回 プレイバックシアターワークショップ in 知床のご案内 2010/04/25 23:38

昨年の礼文島でのプレイバックシアターに引き続き、今年は世界遺産・知床でのワークショップが実現いたしました。

福井県の有峰山や南西諸島の奄美大島、北海道では美瑛、そして礼文島と国定、国立公園でのプレイバックシアターを続けてきましたが、土地のエネルギーに感応しあうプレイバック舞台装置の面白さは回を重ねるごとに深まっています。

僻地でのプレイバックシアター（！？）は毎回思いがけない冒険を伴い、スリリングですが、僕はその味わいが大好きです。

今回の知床でのプレイバックシアターも、大ホテルでの開催を避けて、遠音別(おんねべつ)神社というちょっと計算できない場所を選定しました。

エンカウンターセッションなども盛り込みながら、参加者でチームワークを発揮しつつ、創り上げていくワークショップになります。

何が起こるか見えない感じが何だか僕は楽しくてなりません。。

### スクール・オブ・プレイバックシアター日本校『プレイバックシアターのトランスパーソナルな側面』ご案内 2010/03/19 23:00

テーマは「プレイバックシアターのトランスパーソナルな側面」です。

僕自身の関心とも大いに重なる領域ですので、楽しみにしています。

### シアター・ザ・フェンス松本公演！ヒトリ主義 Night2010／GARDE-winter-へのお誘い。2010/02/17 00:12

今回のシアター・ザ・フェンスのミュージシャンはチェリスト甲藤為元氏が担当します。

クラシカルな音世界の中で展開するプレイバック・パフォーマンスとなるでしょう。

また、WSではミニカウンセリングの磁場を用いた舞踏作品を発表する予定です。

楽しい時間になりますね^^

## 大神子・「プレイバックシアターの可能性に迫る」クラス最終のご案内 2010/02/13 01:17

プレイバックシアターと「癒し」と呼ばれるもの、あるいは心理治療や問題解決といった営みとの関係はどんな景色になっているのでしょうか？

興味深い視点ですね。

## 劇団まざりいふ主催・高槻ダンスとプレイバックシアタークラスのご案内 2009/12/05 02:16

昨日は徳島市でやはりお母さん方のエンカウンターグループを行いました。僕にとって子供を育てておられる女性達は素晴らしい「素材」であると感じています。

「子育て支援」をする対象には見えなくなっていて、一人ひとりに表現者・アーティストとしての計り知れないエネルギーや情熱を感じます。

## 第7回徳島・大神子プレイバックシアター研究クラスのご案内 2009/11/14 19:41

初々しかったお母さんアクターたちは、「空間」と「沈黙」に宿るエネルギーを理解した力強い舞台を見せてくれるようになりました。

今回の大神子研究クラスはいよいよ実践！パフォーマンスです。

社会にコミットしてこそ面白さが分かるプレイバックシアターですが、

すでにクラスのメンバー達は見事なパフォーマンスを実施してきています。

我々が住んでいる地域の中に、プレイバックシアターという芸能空間を創設することの意義や具体的なノウハウについて、互いの成果を分かち合いつつ深めてみましょう。

楽しみです！

## 「ダンスと舞踏、のちプレイバックシアター時々楽団」クラスのご案内 2009/10/16 21:44

昨日「自分流リラックスダンスとプレイバックシアターの基礎」大阪夜のクラスの最終回が終了いたしました。

コンテンポラリーダンスや舞踏のエネルギー場と、プレイバックシアターの空間を出入りしながら、刺激と興味の尽きぬクラスになりました。

「舞踏」の感覚にインスパイアされた日本人独特の感性を基礎においたプレイバックシアターのチームが誕生しつつあります。

参加者全員で瞑想を行った後、執り行ったプレイバックシアターでその舞台感覚を自覚（発見）しました。

ともにその経験を共有したメンバーたちと、ヨーロッパ公演について具体的なイメージを膨らませて語り合えるなんて、面白過ぎます^^/

(ヨーロッパでは舞踏が日本固有の芸術として受け入れられているのです。)

こんな面白いクラスは継続しましょう。

このクラスに来てくださるのは、サラリーマンや主婦の方だったり、仕事を探していたり、自分で作ろうとしている人間臭くてやさしい普通の人々です。

どうぞお気軽に仲間に入ってくださいませ。

今、「普通の隣人」がもっとも面白く、熱いのです。

#### フェンスショー満員御礼！と大神子ダンスWSへのお誘い 2009/09/25 00:37

最後のプログラム「かずりんアイドル化計画!？」でペンライトを振って絶叫したために枯れた声とノドの痛みが、自分の内部からあふれ出る若いエネルギーの存在を思い出させてくれます。

#### 第18回 プレイバックシアターワークショップ in 旭川のお知らせ 2009/08/31 21:49

もうお互いに半世紀を生きてきた友との語らいは、さすがに味わい豊かなものとなってきました。

今回もまたプレイバックシアターを通じて、人間とこの現象界の面白さと神聖さを存分に味わいましょう。

#### プレイバックシアターの研究⑥in 大神子（おおみこ）ご案内 2009/08/27 16:01

CIMJで振付家やダンサー、建築デザイナーの方々と語り合って、改めてプレイバックに限らず、グループの場を創造していくファシリテーターは空間と時間に関わる能力を深めることに関心があるのだと思いました。

今回のクラスで何をやるのかはまだ具体的には決まってはいませんが、「面白い場」になると思います。

素直にそういえるのは、敢えて言えば、「僕が作る場」ではないからです。

「場」はすでに元から、非常な創造性そのものなので、「面白いもの」になろうとする大きな川の流れのような勢いを僕がせき止めなければ、我々に必要なものが自然にあふれてくるようになっています。

～プレイバックシアターの場合には、質の異なる空間が現れます。

ひとつは舞台空間で、ここにはありとあらゆるエネルギーが現れる可能性があります。

徳島・自分を「置いて」みる・プレイバックシアターワークショップのお知らせ。2009/05/28 11:49

芸術は、この日常に連続して起こっているように見える「見慣れた」出来事の流れてあえて枠をつけ、結界としての時空間（舞台）を作り、日常のいわば「後ろ」にある世界を垣間見せる「術」であると思います。

見回してみると、いつの間にか僕の周りには、そのような「後ろ」の世界へのゲートとなる「場」を生み出す仕事に人生をかける仲間達の姿が見えています。

僕にとっては本当に、うれしく、頼もしい姿です。

彼らの中には、名のある人もいれば無名の人もいますが、名称や肩書きは問題ではありません。

彼らが彼ら自身であることによって毎瞬間に振動し、放出している「働き」こそ見るべきものであると思います。

「彼ら」という「出来事」に出会えたことは、僕の人生の大きな喜びです。

与えられた場所に、ただ自分のからだひとつ、こころひとつを、ていねいに、真剣に、置いてみましょう。

すると「働き」が始まります。

今回は徳島・大神子海岸に「置いて」見ます。

楽しいですね^^

5/21：自分流リラクソダンスとプレイバックシアターの基礎 2009/05/18 05:23

●プレイバックシアターとは・・・

プレイバックシアターは即興による舞台芸術です。ここでいう舞台とは、高密度のエネルギーがセットされたトランスパーソナルな場・空間のことです。参加者はアクターとなって、テラー（自分のお話を語る人）の物語を演じるため舞台上に立ち、今聴いたばかりのお話にもとづいて自由に表現します。すると、「演技

力」とは関わりなく、アクターの実存的なエネルギーが発動して、ステージ上に真剣で誠実な即興表現のフィールドが生まれます。テラーはこのフィールド上に現れる自分自身の人生を見つめることで、新鮮な気づきや生きていく力を得ることができます。演じるということがまったく初めての方でも、いつのまにか表現できてしまう楽しい方法です。

#### プレイバックシアターの研究 in 徳島・大神子クラスのご案内 2009/05/14 11:58

僕にとっては、プレイバックシアターという「場」で起こる出来事を素材にして、自由に、心の趣くままに、テーマに触発された洞察を語れる幸せな機会です。

参加者の皆さんとプレイバックシアターを楽しむことは  
そのまま互いの人生や、人間観について深く交流することとなります。

「芸術」とは何か、という興味深い問いについてもかなり視界がはっきりしてきました。

#### 礼文島プレイバックシアター追加募集のお知らせ 2009/05/09 16:14

先日清里で開催された、ファシリテーションを支える人間観について探求する『フォーラムg』。

100名近くの参加者と面白いゲストの方々に出会い、刺激とインスピレーションを受けました。

なかでも大いに意気投合した同志社女子大の上田信行先生は、  
「人間は変わりません。場が変容するんです」と。

その軽やかな断言は、僕をとっても楽しい気持ちにさせてくれました。

話の通じ合う仲間との語らいは本当に心躍る、幸せな経験ですね^^

#### 7/10：第17回 プレイバックシアターワークショップ in 礼文 2009/04/15 17:12

語り手（テラー）として聞かせてくださるお一人お一人の物語に耳を傾け、そのお話がプレイバックシアターとして再現される様子を見てみると、

人が普通の人であることをやめ、知恵に導かれて生きる単独者としての威厳を漂わせ始める有様を目撃することができます。

その存在感は、十勝岳やお月様と同じ重さをもって見る者に迫ってきます。

大自然の中で執り行うプレイバックシアターという祭儀に惹かれてやまない所以です。

### 3/27-29：群馬でプレイバックシアターワークショップ 2009/03/17 01:51

現象学的地理学という分野があって、「場」とか「場作り」とか、「場のファシリテート」などという言葉を使うことのある僕にとってはとても面白いものです。

また現象学的アプローチなどと言いながらミニカウンセリングの研修をしたり、個人カウンセリングをしている立場からも興味が尽きません。

プレイバックシアターは、自分の人生を語ってくださる人がいるならば、どこにでも出かけて行ってステージを作り、アクターを出現させて、舞台を成立させます。

それは言語が違っていても可能です。タイやカンボジアではそれぞれの場所でそこに生きる人々の感情を表現するとき、日本人同士で行うのと同じ一体感、同じ共感、同じ敬意、同じ神聖さを見ることができます。

脚本の面白さや、人為的なメッセージを伝えるツールとしての舞台芸術ではなく、その時、その場所と空間に生きている人の命と人生の重みが現れ、その現れた場において尊厳と神聖さを再びまとうための儀式的、祝祭的な舞台芸術がプレイバックシアターです。

### プレイバックシアターの研究 2008/06/06 15:11

皆様へ。お元気でしょうか。

来る7月4(金) 5(土) 6日(日)は、徳島での「プレイバックシアターの研究」の第2回目、「グループ作りの基礎1 ウォームアップ・リチュアルとエネルギーの場」が開催されます。

人間のあらゆる文化的な営みが成立するためには、その営みが現象するための『場』が必要です。それはエネルギーのフィールドのことですが、その場の質を指して我々は、「この場は暖かい」とか「ここは安心できる」などと表現します。

たとえばプレイバックシアターをはじめとして、人間の変容のために様々な技法が用いられていますが、その技法そのものが暖かかったり、安心できるわけではありません。技法は「人」ではないからです。

よく見れば、その方法を用いているその人自身が発信し、創り出している「場」の質やムードが目に見えない内実となって、

プレイバックシアターやサイコドラマ、カウンセリングやレクリエーションといった「方法」が成立していることが分かります。

このことを、そのグループをリードする人のメタスキル（意識的なスキル・技術ではなく、内面的な態度に属するその人の影響力・働き）と呼びましょう。

ここで、人間の「変容」とは、ある人が周囲に発信し続けている「場の質」の変容である、と考えてみます。

するとプレイバックシアターは、我々が存在する上で、分かちがたく一体となっている「場」そのものに働きかけるための方法であるということになります。

この「場」の変容のために、無くてはならないプレイバックシアターの優れた構造が「リチュアル」と呼ばれている「作法」です。

「ウォームアップ」は心理・身体的な人間が安心して存在できる場の働きのことであり、「リチュアル」は人間に訪れようとしているトランス・パーソナルなエネルギー場の働きに対して付けられた名称です。

さて、それは本当でしょうか？

もしそれが事実なら、プレイバックシアターと人間の変容についての関係が、かなりすっきりと見えてきて面白いですね。

#### 5/31-6/1：興正寺プレイバックシアターWS 2008/04/22 22:41

アクターがテラー（個人的なお話の語り手）によって選ばれ、テラーと強いつながりのある特定の実在の人物（たとえば家族の誰か）として舞台上に立ったとき、実際には説明していないのにその人が本当に語った言葉や感じた感情を再現することがあります。

これをテレパシーやテレポートなどと同じ意味合いで「テレ」と呼ぶことがあります。

これは PT がリチュアル（儀式的な進め方）に基づいて行われたときには高い頻度で見られる現象であり、一般の演技方法論と一線を画する PT 独特の演技（アクティング）論が接近しようとしているステージ上の重要な発見ですね。

しかし、個人と個人の社会的なコミュニケーションを超えた、「テレ」による瞬間的な情報の伝達は、サイコドラマやファミリーコンステレーションなどの心理療法のほか、心的エネルギーの集中によるステージ作りをする芸術的、宗教的アプローチでは広く見られる現象です。

PT の劇団であるシアター・ザ・フェンスのメンバーが最近発した興味深い問いがあります。

「共演しているアクターのオファー（テラーのストーリーをよりよく表現するためのアイデアの提案）が受け入れがたいときには拒否してもいいのでしょうか？」

アクターのアクティングが、いつ、どこからともなくやってくるテレによる情報も含むのだとしたら、我々

はアクティングの良し悪しをいったいどこで判断するのでしょうか。

また、テレの存在とその超越的な働きを認識した上で行う「アクティング」とは、どんなアクティングなのでしょうか？

それは芸術や心理療法、瞑想、宗教などの領域と浸透しあう非物質的な「場（フィールド）」における行動の科学であると思います。

アクターが空間との対話によってテラーが現在生きているエネルギー状況を知ることができる、と仮定した時、アクター同士のオファーのやりとりには、空間（フィールド・磁場）という第3の要素が入ってきます。この第3の要素が、アクターの個人的自我（好き嫌い）を超えて、ステージ上で敬意を払われるべき重要な高次の情報であると考えてPTのアクティングを見てみましょう。

すると、リチュアルの進行によって「空間」からの“高次の”オファーを受け取り、複数のアクターの心身を通過させながらどのように調和させて表現するか、という視点が生まれてきます。

PTの創始者ジョナサン・フォックスとお話したとき、彼は日本の禅画が好きだといい、PTと似ているといいました。

なぜそう思うんですか、と聞くと答えは「両方とも空間がたくさんあるんだ」ということでした。

彼の真意は分かりませんが、僕なりに、PTという祭事の生み出すフィールドの上に見えているものを、皆さんの心の視力をお借りして共有し深めていきたいと思います。

4/5～2010年3月：プレイバックシアター 2008/02/02 01:05

普段我々が生きている生活の場において、プレイバックシアターと呼ばれる儀式的な表現行為を行った時、我々の日常性にいったい何が起こるのでしょうか。

僕にとってプレイバックシアターは抗えぬ魅力を持った冒険への扉であり、その向こうには広大な未知のエネルギードラマが待ち受けています。

10/6-8：プレイバックシアター 2007/08/22 19:39

このクラスでは、楽しいウォームアップゲームの適切な使い方を学ぶだけにとどまらず、場の位相転換やエネルギー密度の変化といった視点から、PTにおけるウォームアップの本質的な側面に接近することを目指します。

8/25-26：プレイバックシアター 体験ワークショップ 2007/08/12 21:13

異なるフィールドで生きてきた者同士が互いに敬意を持ち、交流すること  
まさにコンタクトすることは、意義深いことはもちろんですが、  
とにかく楽しいです。  
自分が見てこなかった新しい側面が拓かれていく快感があります。

2/24,25 : 興正寺プレイバックシアターWS 2007/02/02 22:04

プレイバックのワークに「自分が大切にしている物になる」というレッスンがあります。

我々日本人は、ネックレスとか愛車とか愛用の腕時計とかを題材にすることが多いのですが、2月初頭にオーシャンズチームが訪ねるカンボジア・プレイベン州リング村の青年たちにこの質問をすると、「大切な物」は村の「山」や「川」、そして「畑」と答えるそうです。

なんだか素敵な答えですね（＾＾）

アンコールワットの霊気を受け、リング村の子供たちの無邪気な魂に触れたオーシャンズチームがいったいどんなエネルギーを持ち帰ってくるのか、乞う御期待です。

9/2-3 : 興正寺プレイバックシアターWS 2006/08/25 15:15

前回参加のオーシャンズメンバーからのメールを紹介します。

「ぼくは前回の興正寺の最初のチェックインミーティングのときに、「いま、人生の壁にぶち当たっていて・・・」といったことを話したのですが、みえている風景がだいぶ変わってきたのです。

どう変わったかということ、人生に壁などなく、もし、人生に壁があるのだとしたらそれは自分自身がつくりだした砂漠の蜃気楼みたいなものなのだ、と気づいたのです。

危なく、自分の人生の歩みを途中でストップさせてしまうところでした。そして少しずつではありますが、いまこの風景がみえるようになってきました。少しだけ自分から自由になれた気がします。

それがみえるようになると、不思議とエネルギーが満ちてきます。なんか自分がここにいる実感が湧いてくるのです。

オーシャンズは特定のハコ（場所、事務所）を持ちません。でもメンバー1人1人から発せられるエネルギーがオーシャンズというグループをビルド・アップしていくんだとおもっています。

それは目には見えないけれど、エネルギーでできた建物を建築しているような感じです。

つまり、特定の既存のハコはないけれども、たしかに感じることもできる、メンバー1人1人のための建物、場所がオーシャンズなのかも知れません。そしてそのプロセスはもう始まっているのですね。

あ、それってまさにチームワークですね。(いまこの文章書いてて気づきました。笑。)

何かの目標に向かってみんな均質化、集団化していくチームワークではなく、メンバーそれぞれの在り方が逆にチームをつくっていくようなチームワークです。

その可能性は無限だし、だからこそわくわく、ときどきします。」

プレイバックシアターは参加される皆さんの真剣なエネルギーによって そのつど建設される神聖な寺院のようなものだと思います。

古来より真実を求める無数の人々が興正寺の道場で聴聞を重ねてきました。本気で泣き、怒り、そして笑って存在の地平を越えていきました。

その同じ大広間で、尽きることなく再臨する「今・ここ」のエネルギーがプレイバックシアターを形作りま

す。まったく初めての方も、何度も参加している方も、この空間の中ではともに「一味」となり、概念ではない「つながり」の味覚を楽しむことができるでしょう。

---

以上